

日本脳性麻痺の外科研究会誌 投稿規定

平成28年10月29日改定

1. 主著者は原則として日本脳性麻痺の外科研究会の会員であること。
2. 研究会誌に掲載された論文の著作権は、日本脳性麻痺の外科研究会に帰属する。
3. 倫理的配慮について
本誌に投稿される論文における臨床研究は、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること。患者の名前、イニシャル、病院での患者番号、生年月日、手術日、入院日など、患者の同意を可能とする情報を記載してはならない。
4. 原稿の第1頁に、題名、著書名、所属、キーワードを以下の順で記す。
 - (1) 題名 (和文)
 - (2) 著者名 (和文)
 - (3) 題名 (英文)
 - (4) 著者名 (英文)
 - (5) 所属 (日本語と英語を併記)
 - (6) キーワード (日本語と英語を併記) (3～5個)
5. 400字以内の和文要旨または200語以内の英文要旨を付す。
6. 文献は以下の記載方法に従う。
 - (1) アルファベット順とする。
 - (2) 本文中に見出し番号を上付きで入れる。
 - (3) 記載例。
<雑誌>
 1. 松尾 隆, 元 豊彦, 福元真一, 神前智一, 菅野徹夫, 菅沼悦子, 森田定雄, 坂本公宣, 池田啓一, 下河辺征平. 脳性麻痺の痙性, 固縮, アテトーゼ不随意運動に対する整形外科的選択的緊張筋解離術. 脳性麻痺の外科研究会誌 1998 ; **8** : 38-39.
 2. Matsuo T, Hara H, Tada S. Selective lengthening of the psoas and rectus femoris and preservation of the iliacus for flexion deformity of the hip in cerebral palsy patients. J Pediatr Orthop 1987; **7**: 692-698.
<単行本 (複数著者) >
 3. 原 寛道. 脳性麻痺. 杉岡洋一, 岩本幸英, 編. 神中整形外科, 上巻, 22版. 東京: 南山堂 ; 2004 : 695-714.
 4. Dutkowsky JP. Cerebral palsy. In: Canale ST ed. Campbell's Operative Orthopaedics, 9th edition. St. Luis: Mosby; 1998: 3895-3969.

<単行本(単一著者)>

5. 松尾 隆. 脳性麻痺と機能訓練: 運動障害の本質と訓練の実際, 第2版. 東京: 南江堂; 2002: 1-47.
6. Matsuo T. Cerebral Palsy. Spasticity-control and Orthopaedics. An Introduction to Orthopaedic Selective Spasticity-control Surgery. Tokyo: Soufusha; 2002: 129-148.
7. 図および表を明確に区別し、図には説明文をつける。
8. 本文原稿および表は用紙に印刷したもの、および、CDに保存したものの両方を提出する。
9. 図はそのまま製版できる鮮明なもの、および、CDに保存したものの両方を提出する。
10. 掲載料・別冊料金
仕上がり6頁まで無料。それを超えた場合は、1頁につき2,000円を著者が負担する。なお、質疑応答も論文に含めて計算する(第9, 13, 18回脳性麻痺の外科研究会総会議決事項)。別冊は20部1単位で3,000円を著者が負担する。
11. 締め切り
研究会終了日より2ヵ月以内に提出する。

問い合わせ先および送り先

〒811-0119 福岡県粕屋郡新宮町緑ヶ浜4-2-1
福岡県子ども療育センター新光園内
日本脳性麻痺の外科研究会事務局 福岡真二
電話092-962-2231 Fax 092-962-3113
e-mail fukuoka.s4969@gmail.com